

生駒市地域公共交通総合連携計画策定調査

実施計画概要

昭和40年代から住宅開発に合わせて発展した生駒市では、急速に住民の高齢化が進展する中で、急傾斜地の住宅地が多いという地理的特性とあいまって、徒歩圏でも駅までの移動が困難な高齢者の増加、団塊世代の退職による公共交通の需要構造の変化などの問題が顕在化しはじめている。こうした問題に対処するとともに、将来のまちづくりや市民生活の望ましい姿を展望し、その実現を支援する公共交通施策について検討するため、地域公共交通総合連携計画を策定する。

事業実施概要

検討の経緯

■21年11月:第1回協議会

・協議会設立、諸規定の制定

■22年2月:第2回協議会

・認定申請について

■22年7月:第3回協議会

・計画策定にあたっての考え方

■22年9月:第4回協議会

・アンケート調査概要
・生活、交通に関する問題整理

■22年11月:第5回協議会

・地域の現況把握
・目指すべき将来像と目標設定

■22年12月:第6回協議会

・総合連携計画の検討について

1月までの検討状況（計画素案）

【基本的な方針】

既存の鉄道や路線バスの相互連携をはかり既存のストックを有効活用する。①高齢化の進展により既存ストック利用が難しいところには改良を加え、②民間の公共交通事業者が維持・管理できるところは委ね、③運営が難しいところは市が関与して対応を図る。

【目標】

- 上位計画(マスタープラン)における交通やまちづくり、福祉政策との調整
- 望ましい将来の姿(高齢者の居住・生活パターン、自動車利用のあり方等)の想定
- 市が関与して公共交通サービスを提供する際の基本方針、地区の選定基準、運行費用に対する負担のあり方の設定

【区域】

生駒市全域

【計画期間】

平成23年～
概ね10年程度

【事業・実施主体】

●乗合公共交通の導入

市周辺部に広がる公共交通空白地域における新たな乗合公共交通(コミュニティバス・乗合タクシー)の導入
<生駒市・乗合旅客自動車運送事業者>

●路線バスの再編

高齢化が急速に進展する住宅団地における既存路線バスの経路変更やバス停配置の見直しによるコミュニティバス化
<生駒市・乗合旅客自動車運送事業者>

【その他】

市民の生活と交通に関するアンケート調査結果を実態把握に活かすとともに、平成23年1月に実施するパブリックコメントの結果も総合連携計画に反映させる。

調査事業概要

総合評価

上記のとおり、法定協議会を適切に開催しながら、今後10年程度の間にも高齢化の急速な進展が見込まれ、地形的にも傾斜地が多いという生駒市の特性を踏まえ、市民の生活と交通の実態を把握するとともに放置すれば行きつくと考えられる将来の姿を見通し、望ましい将来像を実現するために必要な施策について検討した。今後、計画の策定と計画に基づく事業の実施を行う。